セッション名	セッション日	セッション時刻	会場名	演題番号	演題名
U30セレクション演題	7月6日	15:20～16:20	第2会場	U-01	ラット骨粗鬆症モデルに対する乳塩基性蛋白質と骨吸収抑制剤の併用が骨微細構造および骨強度に与える影響
				U-02	ステロイド長期投与した間質性肺炎患者に対して栄養理学療法を実施してサルコペニア発症の予防が出来た症例
				U-03	肺癌手術患者における術前栄養状態は術後1ヶ月での術前運動耐容能への回復に影響を与える
				U-04	喉頭がん化学放射線療法後の嚥下障害と体力低下に対して、包括的な介入をした症例
				U-05	人工呼吸器管理後の声帯筋萎縮による嚥下障害に対して多職種アプローチで嚥下障害と身体機能が改善した症例
				U-06	筋収縮様式相違による舌骨筋の即時効果について
セレクション演題	7月6日	16:30～17:30	第2会場	Y-01	An evidence-based study on the effectiveness of neuromuscular electrical stimulation in dysphagia after stroke
				Y-02	胸部CT画像を用いた呼吸筋量評価における検者内信頼性の検討
				Y-03	大腿骨近位部骨折患者における体水分均衡（ECW/TBW）の改善に関連する要因：決定木分析による検討
				Y-04	急性期低栄養高齢脳卒中患者に対する電気刺激療法が筋萎縮に及ぼす効果
症例発表甲子園　予選　～中国・四国・近畿ブロック～	7月6日	13:00～14:00	第3会場	K-01	嚥下外来受診後、嚥下リハビリ入院にて３食経口摂取、気管カニューレの離脱が可能となった一症例
				K-02	気管カニューレ抜去に伴う嚥下時筋活動の変化：舌骨上筋群を評価した一症例の検討
				K-03	脳血管疾患患者に対し嚥下造影検査前に車椅子検討会を行い経口摂取可能となった一症例
				K-04	重度低栄養のⅣ期COPD患者に対する運動療法と栄養療法の併用が奏功し，自宅退院へ至った一例
				K-05	重度嚥下障がいを有すパーキンソン病利用者の多職種での関わり-おはぎが食べたい！を叶えるために-
				K-06	浮腫管理に対して細胞外水分比のモニタリングが有用であった一例
症例発表甲子園　予選　～海外ブロック～	7月6日	14:10～15:00	第3会場	K-07	Swallowing Treatment for a 3-Year-Old Child with Dandy-Walker Syndrome: A Case Report
				K-08	A Challenging dysphagia Rehabilitation for a 2-year-old child with MIRAGE Syndrome
				K-09	A case of DPNS therapy combined with lingual marginal acupuncture in the dysphagia due to Guillain-Barré
				K-10	A device that improved severe dysphagia during the pharyngeal stage after brain tumor removal
				K-11	早期不顕性誤嚥患者の一治療症例
症例発表甲子園　予選　～関東・中部ブロック～	7月6日	15:20～16:20	第3会場	K-12	脳卒中患者に対する経頭蓋磁気刺激と神経筋刺激の併用治療により経管栄養離脱となった一症例
				K-13	重症肺炎後の低栄養とサルコペニアを呈した超高齢患者にリハ・栄養・口腔三位一体の介入を 試みた1症例
				K-14	栄養管理へ理学療法士が関わることにより、低栄養状態にある脳膿瘍患者のT字杖歩行を獲得した症例
				K-15	嚥下障害を有する入院患者の経口摂取および栄養管理に難渋した１例
				K-16	食への固執と食欲不振を併せ持つ低栄養肺がん患者への管理栄養士による個別化された在宅訪問栄養指導
				K-17	短期間の集中的なトレーニングと多職種の支援よりに嚥下機能が改善した在宅認知症高齢者の1 症例
症例発表甲子園　予選　～九州ブロック～	7月6日	16:30～17:30	第3会場	K-18	左舌下面扁平上皮癌術後および声門下浮腫を呈した症例への介入報告
				K-19	回復期リハビリテーション病棟に入棟した脳卒中患者に対して栄養補助食品を使用しリハ栄養を施行した一症例
				K-20	多職種包括的評価によるチームアプローチで課題解決へと至った在宅生活期心不全患者の一例
				K-21	肝性脳症を合併した回復期リハビリテーション病棟脳卒中患者に対し,栄養療法と運動療法を行った治療経過
				K-22	重症心身障害者が抱える味覚特性をアンケート調査にて理解を深める
				K-23	人工骨頭置換術後に齲歯により抜歯した患者に対する栄養療法と運動療法を併用した症例
指定演題Ⅰ：Hot topic	7月7日	9:00～10:10	第3会場	S-01	表面筋電図を用いた嚥下時の筋疲労評価 wavelet変換による周波数解析を用いて
				S-02	急性期頸髄損傷患者における嚥下障害のリスクファクターの検討 ～受傷2週間と受傷4週間の摂食状況の比較～
				S-03	低栄養患者に対する運動負荷量についてのスコーピングレビュー
				S-04	充分量ビタミンD経口摂取下での活性型ビタミンD投与が骨微細構造と強度に与える影響
				S-05	地域高齢者向けのフレイルリスク評価票に含まれる、口腔機能項目のスコアと体格の関連性について
				S-06	地域整形外科におけるオーラルフレイルの有症率の調査
				S-07	脳卒中両片麻痺患者におけるESP療法とLEA.Padの併用により嚥下機能改善を認めた一症例
指定演題Ⅱ：在宅維持期	7月7日	10:20～11:20	第3会場	S-08	地域在住中高年における不良な体組成とフレイルリスクにロコモティブシンドロームの重症度が及ぼす影響
				S-09	回復期リハビリテーション病棟退院患者におけるサルコペニアとADL能力の関連性
				S-10	通所リハビリテーションを利用する地域在住高齢女性における重症サルコペニア判定の下腿周径カットオフ値
				S-11	骨量および筋量低下した高齢女性の身体活動、栄養状態の特徴について

				S-12	当施設における常食化への取り組み
				S-13	パーキンソン病患者の低栄養に対する理学療法士の役割―便秘に対する多職種協働からの事例考察―
一般演題Ⅰ	7月7日	13:00～14:00	第3会場	O-01	起立運動はサルコペニアを有する脳卒中患者の認知レベルを改善する
				O-02	回復期リハビリテーション病棟の脳卒中患者の入院初期エネルギー摂取量と退院時歩行自立度の関連性
				O-03	回復期リハビリテーション病棟の脊椎椎体骨折患者におけるオステオサルコペニアとPhase Angleの関連性
				O-04	回復期リハビリテーション病棟における廃用症候群患者の実績指数に及ぼす要因の検討
				O-05	回復期リハビリテーション病棟患者のエネルギー充足に影響する要因は何か
				O-06	軽度から中等度の低栄養を呈した脳卒中患者の身体活動量の変化が退院時の日常生活動作能力に与える影響
一般演題Ⅱ	7月7日	14:10～15:10	第3会場	O-07	Swallowing performance during swallowing tasks in healthy adults
				O-08	Investigate the feasibility and efficacy of swallowing training for patients with disorders of consciousness
				O-09	化学療法を受ける悪性リンパ腫患者における悪液質は有害事象の発生に影響する
				O-10	消化器がん患者の安静時エネルギー消費量の予測式の開発
				O-11	胃がん周術期患者におけるリハビリテーション介入時には術後骨格筋量低下に注意が必要である
				O-12	咽頭クリアランスに寄与する咽頭挙筋の構造学的知見
一般演題Ⅲ	7月7日	15:20～16:50	第3会場	O-13	モーションキャプチャーを用いた箸の形状の差異による把持位置と操作効率の変化
				O-14	高齢脊椎椎体骨折患者におけるサルコペニアと位相角の関連について
				O-15	大腿骨近位部骨折患者における年代別サルコペニアの有病率
				O-16	外来高齢患者における握力と生活関連要因を用いた骨格筋指数（SMI）の重回帰モデル構築
				O-17	脳卒中入院患者における身体活動変化量に影響する因子の検討
				O-18	地域在住高齢者の１年間における体重変化の特徴
				O-19	生活動作と全身耐久性の向上により食事動作を再獲得した一症例
				O-20	低栄養が遷延した遠位胆管癌術後症例のADL動作獲得に向けた理学療法
				O-21	NST介入後経口摂取への移行困難で転院に至った症例